



中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001中野区中野4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874

http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com

編集発行:住民自治をすすめる政策研究会

うさぎだより

日本は世界で初めて 少子高齢社会に突入! 対応できる福祉政策が必要です。



「どうぞ会っていただきたいと思います。」昨年来、経営栄養など医療的介護を受けながら在宅で暮らしているお子さんなど、何人もの方々から、現場のお話を聞かせていただきました。「地域で生きたい」その願いをしつかり胸に受け止め、街頭でも福祉の充実を訴えてまいりました。デイサービスの車の窓からも「佐藤さん」と手を振ってくださり胸がつまる思いでした。四月の統一地方選挙では暖かいご支援をいただき、再び区議として仕事をさせていただきます。ただいいております。だれもが安心して暮らせる街をつくるために、さらにながらばつてまいります。これからも、よろしくお願いたします。

第二回定例区議会 佐藤ひろこの本会議質問

2050年には65歳以上の人口割合が、世界一高い国になると予想されている。東京も例外ではなく、都市圏の65歳以上人口は、2000年と比べて78%も増え、15歳から64歳の働く世代の人口は13%減るといふ予測。人口構成が大きく変わる中で、だれもが安心して暮らせる福祉社会を、どのように作っていくのが、重要な課題だ。

佐藤 2050年の区民生活の展望が、今年度発足した中野



区政策研究機構の主要テーマとなっている。政策をつくる時、人口構成の変化を見通すことは重要。中野区では、人口構成の推移をどう把握し、その重要性と課題について、区長はどう認識しているのか。

区長 人口構成の推移について、10か年計画では、10年後の人口構成を年少人口8.8%、生産年齢人口69.9%、高齢人口21.3%と推計。2005年度より年少人口は3%減少、生産年齢人口は5.3%減少、高齢人口は12.5%増

と見込んでいる。人口構成の変化は、社会保障や福祉、教育、都市基盤整備など、公共政策のあり方を規定する最も基本的な要素。必要な政策と、それを支える国民経済の力を考える上で、人口の予測は極めて大きな意味を持っている。区としても、国全体の人口構成、中野の人口構成などについて、さまざまな観点から検討を加え、研究の出発点とする。

区は民間福祉施設と連携し、区民サービスに責任を

佐藤 「総合保健福祉センター江古田の森」がオープンした。中野区で初めての老人保健施設や障がい者入所施設もあり、区民から期待が寄せられているが、人手の確保はできているのかなど様々な心配の声もある。民間におまかせだけでは、区の責任は果たせない。江古田の森施設は、民間の資金等を生かしたPFI事業で整備された民設民営の施設だが、管理者は中野区長であり、定期的に監視を行うことになっている。しっかりと連携体制を。

区長 施設運営協議会、施設運営懇談会等の協議、確認の場を設けている。実態を十分把握をし、必要な働きかけを行なう。

(江古田の森施設の職員総数は、現在約260人で国の基準を50人上回る人員配置となっているが、サービスをより充実させるためには、さらに職員の増員が必要。今後、区と施設側とで、しっかりと定期的に情報交換を行うことになった。)



実現 民間福祉サービスの苦情解決制度

「中野区民間福祉サービスに係る紛争の解決の促進に関する条例」が成立。

民間が行なう福祉サービスへのオンブズ制度を提案してきたが、やっと10月から始まる。区役所に窓口が置かれ、苦情や紛争の調査や調停にあたる。

介護サービス事業者を チエック

佐藤 コムスン問題をきっかけに不安が広がっている。介護サービス事業者への定期的なチエックを。

区長 事業者に対する調査・指導は計画的に行っている。今年度は、地域密着型事業所を中心に毎月実施している。利用者などからの通報があった場合は最優先で実施する。また、今年度から区独自の集団指導を事業所の種別ごとに少人数グループで行っている。

(佐藤の意見 指導だけでなく事業者の実態や悩みも聞き取る場にもしていくことが必要。国の介護報酬単価の切り下げで、介護サービス事業所の運営が厳しくヘルパー報酬も下

がり、働く人が不足する深刻な事態。適切な介護報酬単価の設定を国は行つべきだ。)

日本に来たばかりの 子ども達へ支援を

佐藤 国は多文化共生推進プランを策定し、自治体を支援する方針を示した。区においても、多文化共生施策の推進を図るべきだ。多言語版のわかりやすいホームページの作成など、情報提供の充実を。

区長 今年度から、英語のみのホームページに、新たに中国語の案内を行うとともに、情報の充実を図り、多くの外国人の方が、中野で快適に暮らしていけるように支援を行なう。

佐藤 日本に来たばかりの子どもたちは、日本語の理解が不十分で、学習や進学でハンディ

宙に浮いた年金5千万件 私もその1件

中野区役所の1階に年金相談窓口がある。「消えた年金」が問題になってから、連日100人以上の人達から問い合わせが相次いだ。5年前までは、国民年金を収める窓口は区役所だった。当時の書類は国の通達によりほとんど破棄したということだ。2002年4月から国の社会保険庁が収納事務も行なうようになり、電算データは社会保険庁に管理されている。区の窓口では社会保険庁に問い合わせさせて答えているそつだ。

中野区役所の1階に年金相談窓口がある。もつとあまり混んでいない。電話での問い合わせにもすぐ答えてくれる。数分で、年金がどうなっているのか、また受給できる年金金額も知ることが出来る。私の場合は厚生年金と国民年金が統合されていなかったことが分かった。以前の会社名がわかれば調べられる。統合されていない人はたくさんいるだろう。あなたの年金はだいじょうぶですか？

中野社会保険事務所 3380 6111



国際交流協会の夏休み子ども日本語クラスを見学

を受けている。教育委員会は、支援が必要な子どもたちに、通訳派遣、日本語適応教室を行っているが、利用者も増えており、日本語を教える講師派遣も求められている。日本語教室を行う国際交流協会とも連携し、日本語学習の充実を。

教育長 日本語指導等の事業の充実を検討する。

就学指導委員会の 見直しを

佐藤 昨年国連で採択された「障害のある人の権利に関する条約」の後押しも受け、東松山市は、子どもの就学先の判定を行う就学支援委員会を廃止した。本人や保護者の意向を尊重し、就学先選びに協力する、就学相談調整会議に見直した。中野区でも、保護者から就学相談の見直しを求める声が上がっている。区の就学指導委員会の見

直しに着手してはどうか。教育長 障がいのある児童生徒の就学先の決定に当たっては、専門的知識を有する者の意見を聞く就学指導委員会が必要。就学指導委員会の判断を説明した上で、本人にとって適切な就学先を、保護者の方と一緒に考えている。お話の仕方とかに今後気をつけていきたい。(話し方に気をつけたいという問題ではない。判定して指導するという教育委員会の考え方を見直すべきだと、教育委員会に再度要求。)

重い障がいがあっても 在宅での生活が 支えられるように

「介護時間の上限を決めたのですか？これでは在宅で暮らしていけない。」との電話。区職員が上限があると聞いたそつだが、それは違う。人工呼吸器をつけた難病ALSの方の在宅生活はほぼ24時間体制の介護で支えられている。「必要な人には必要なだけの介護時間を支給する」との区長答弁を昨年の区議会で確認している。一律に上限を設けない方針であることを区の職員と再度

確認した。介護に関する相談がいろいろ寄せられる。痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする人の在宅生活は様々な壁にぶつかっている。障害を持つ小さな子ども達の通所施設「アポロ園」に呼吸器をつけているお子さんがはじめて通園することになり、通園バスにもリフト付など新たな対応が必要だ。また、医療的ケアが必要な子ども達の緊急一時保護の場所もない。行政や民間福祉事業所などとも話し合い、サービスを広げていきたい。

佐藤ひろこの活動日誌から

- 4月
- 4 江古田の森に特養ホームを求める会で桜を記念植樹
- 6 谷戸小学校入学式
- 9 第9中学校入学式
- 15-21 区議会議員選挙活動
- 22 区議会議員選挙投票日
- 23 開票日 2278票で当選!
- 28 東京女子大学園遊会・東寮同期会
- 5月
- 1 5期目スタート・ふくろうの家開所式
- 7 新聞社論説会議傍聴
- 8 新区議会議員初顔合わせ
- 11 新人議員ガイダンス
- 13 「もぐもぐの会」で江古田の森公園へ
- 16 新人議員研修会
- 17 さくら館子育て広場「ぼぼたん」見学
- 18 中野区合同水防演習・障害者会館事業見学
- 19 立教大学院講演会「未踏少子高齢社会の将来」
- 20 富弘美術館へ
- 22 9中運動会・弥生福祉作業所へ
- 23 中野駅周辺まちづくり・入札契約についてヒアリング
- 24 臨時議会
- 25 区民の会お茶会
- 26 谷戸小運動会・大学院ゼミ同窓会
- 28 中野区政健全化区民会議
- 31 できることからの会
- 6月
- 3 中野消防団可搬ポンプ操法大会
- 4 スマイル福祉まつり・伝統工芸展
- 4 ももぞのデイクラブ
- 5 行政評価外部評価委員会傍聴
- 6 療育センターアポロ園見学
- 7 国際交流協会の取り組みについて
- 9 中野環境まつり・「107+1天国はつくるもの」映画鑑賞
- 10 D P I 日本会議全国集会
- 11 補正予算内示・委員会運営研修会
- 12 地域包括支援センター運営会議傍聴
- 12 江古田の森保健福祉施設見学
- 14 イーストウエスト日本語学校訪問・ヘルパー交流会
- 14 長広会(被爆者の会)総会
- 16 教育センター日本語教室見学・高麗博物館講演会
- 17 住民自治をすすめる会区政報告会
- 19 国際交流協会日本語教室見学
- 20 中野21の会(若手企業家の会)との懇談会
- 21-22 本会議
- 23 私立幼稚園親善卓球大会
- 25 本会議・佐藤ひろこ質問
- 26 高齢者医療改革について立教大学院講義聴講
- 26 打越保育園(指定管理者園・休日保育実施)視察
- 27-29 厚生委員会
- 7月
- 1 NPO法人ねこの手総会
- 2 防災まちづくり特別委員会
- 3 える・こらそん訪問・東ノランド周辺見学
- 4 本会議
- 6 中野定住外国人問題を考える会
- 9 東中野駅周辺整備計画についてヒアリング
- 10 中野サンプラザ問題についてヒアリング
- 17 アポロ園親の会と懇談
- 18 障害者福祉事業団主催「納涼のつどい」
- 19 障害者防災委員会
- 21 さくら館保育ボランティア養成講座見学
- 22 中野養護学校夏祭り・谷戸盆踊り大会
- 22 若年認知症家族会「彩星の会」
- 26 武蔵野市コミュニティセンター視察
- 27.28 自治体議会政策学会 特別講座
- 31 東山高齢者会館 介護予防講座

http://homepage2.nifty.com/hsugidayori

ホームページの日誌から

4月13日

江古田の森防災公園に
ピクニック

「もぐもぐ」の会に参加。障害者福祉会館の調理室でサンドイッチとおにぎりを作る。新しくできた江古田の森防災公園でランチ。イチヨウなどの大木もある林の中を散策。でもきれいに刈られて下草がない。いつかこの公園で出会ったへビも住めないかも。ところが、その後小さな草むらでへビを発見。良かった！へビは幸運の

5月1日

小規模多機能型介護施設
「ふくろうの家」

西武新宿線沼袋駅の近くに「ふくろうサポート」が運営する、新しい地域密着型の介護拠点が開業した。デイサービスに通ったり、ヘルパーを受けたり、泊まることもできる。こんな地域の拠点をたくさん作れるよう、既存の施設の活用なども区は行なうべきだ。

7月8日

非戦の願い

友人の娘さんから「ありがとう」という小冊子を紹介された。ネットワーク地球村代表の高木善之さんのエッセイ集。一人ひとりの命を愛する暖かさが伝わってくる。高木さんの基本理念は「非対立」。反戦から非戦へ、反原発から脱原発へ。非対立は対立そのものをなくそうという考え方だそう。戦争がなぜなくならないのか。対立がなくならないから。「非対立」は政治の世界ではほんとに難しいことだ。

中野区沼袋4 29 3
電話 3388 4296

7月16日

地震 危険な原発

11時16分携帯メールに「新潟県で震度6強の地震発生」と緊急情報が入る。すぐテレビをつける。画面に映る原発の建物から黒煙が出ている。ところが1時間たっても火を消している様子がない。おかしいと思った人も多いと思う。原発敷地内の地面にも亀裂が走っている。大変な事態だ。あとで、次々とわかってきた。放射能漏れは海水中にも空気中にも起きていた。対応は後手後手に回った。想定外の震度だったというが、この原発の真下には活断層があり、地震がおきたら危険だと言われていた。

7月30日

参議院を議論の場に

無所属の川田龍平さんが、比例区の障がい者運動から出馬した金ジョーンズさん落選。それぞれの選挙事務所にお手伝いに行った。参議院が議論を尽くしていく場として、力を発揮していくことを期待したい。

原発はやめるべきだ。今回の地震では今日で10人の人が亡くなった。みんな70歳以上の高齢者。ほとんどの方が古い家屋の下敷きになって亡くなっている。古い住宅が多い中野区でも住宅対策は大事な課題だ。

中野サンプラザ運営会社に 区は徹底した調査を

5月下旬、中野サンプラザを運営している(株)中野サンプラザで架空取引の疑いが発生し内部調査しているとの報告があった。運営会社は中野サンプラザの所有会社「まちづくり21」に家賃を納めている。区は所有会社の主要株主で取締役。

この事態で運営会社の代表と所有会社の代表が同じであるのは良くないので、所有会社の代表取締役が副区長になった。現在、所有会社代表から運営会社の代表宛に質問状を出し、再度回答と資料提出を求めている。区は徹底して究明し、場合によっては法的な手段にも訴えるべきである。

仲町小学校跡に
(仮)すこやか福祉センター

要望していた子どもから高齢者、障害者の地域総合相談窓口が設置される。高齢者の集う場や乳幼児一時保育コーナーなども予定。2009年に開設。子育て相談以外は民間委託になる。民間と行政の連携をしっかりとる。

仕組みが必要である。

これからの児童館

「子どもと家庭を支える地域づくり方針」で、キッズプラザやU18プラザ、地域子ども家庭支援センターの展開計画等が示された。全ての子ども達をどう支えるのか、もっとわかりやすい説明が必要だ。キッズプラザは来年度、塔山小学校で始まる。

母子生活支援施設

いよいよ建設計画が始まる

新しく母子寮を建て替える他、要望していた緊急一時保護や夜間一時保育等も実施される予定。中央5丁目に2010年4月に開設される。

警察大学跡地の土地処分
決まる

明治大学(ユビキタス・スポーツ科学系学部)、帝京平成大学(看護・薬学系学部)、東京建

傍聴してね!

次の議会は
9月20日(木)~10月24日(水)
陳情の切は9月11日(火)

物等グループが国と売買契約。環境や防災に配慮した建設計画にしていくことが重要だ。

中野駅周辺整備計画案

作成のための調査検討報告

4つの案が示された。A・B・C案は中野駅北口と南口を中野通り側に一つにし、もう一つ西口改札をもつける。バスターミナルや駐輪場等の位置が違っている。また参考として大きなデッキをつくる東西橋上駅舎案も出されている。

中野駅南口地区や囲町地区の調査報告も出された。地域の意見をしっかりと聞いていくことが大切だ。

新しい議会での役割

厚生委員会と防災まちづくり特別委員会に所属。会派に所属しない無所属で5期目をスタート。中野区議会では、会派の所属議員数による持ち点を基本に、会派代表者会で事前に役職を協議している。

会派に所属しない議員が委員長になることはないが、今期は新人議員が多いので、議員年数の多い私に厚生委員長役割が、思いがけず振られた。委員会運営は緊張する。

佐藤ひろこの収支報告

2007年4~7月

	4月	5月	6月	期末手当	7月	
収	617,800	588,200	647,000	1,547,947	647,000	
入	費用弁償	24,000		3,000		18,000
支	税金	88,050	83,250	90,080	228,107	78,380
出	年金・保険	99,530	99,530	160,530	116,025	160,530
	活動費	250,877	75,909	55,381	500,000	114,380
	積み立て	24,000		3,000		18,000
残	¥199,043	¥348,511	¥341,008	¥702,815	¥293,710	

* 議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。本来ならなくすべきだ。区に返すことは法的にできないので積み立て、区外の団体に寄付をしている。今回は中越沖地震被災地等へ寄付。



8月15日
住民自治をすすめる会で
高麗博物館を見学
在日韓国・朝鮮人の歴史と文化を伝え、差別のない共生社会を目指している、小さな博物館「チマチョゴリの試着もできる」
新宿区大久保1-12-1
第二韓国広場ビル7階
電話 5272 3510
月・火曜日休み 12時~17時

人権を考える連続講座

8月29日(水)

「日朝韓のはざまに 架け橋となる在日」

お話 李洋秀(イ・ヤンス)さん

在日の父、日本人の母との間に生まれ、国籍に翻ろうされる半生と、これからのかける思いをおうかがいします。

午後2時~4時

なかのゼロ西館 学習室A

9月24日(月・休)

「国籍問題から人権を考える」

お話 富永さとるさん

(日本国市民権法私案を提案している人)

午後2時~4時

男女共同参画センター 2階研修室